

●趣味はなんですか？

⇒ピアノはねえ。ほんと楽しい。私はプロの人に習ってるんですけど、ほんとにすごいことになっているんです。小さい頃はイヤでたまらなかった練習が、今はなんでこんなに楽しいのか。なんでしょうね。

●アフロはいつからですか？天然ですか？パーマですか？

⇒会社員時代からです。人工です。近所には、特殊ヘア専門の美容院があって、そこで美容師さんが、ひたすらもくもくと髪を巻くんです。そこに3カ月に一回ほど行きます。今日は数日前に行ってきたところなのでコンパクトにまとまっていますね。

●ベランダで干すお野菜に鳥や虫は大丈夫ですか？

⇒鳥は来ませんね。野菜は好みではないのかも。虫はそれなりに来ます。ライバル。それも含めて、いいところですかね。

●これからやりたいことは何ですか？

今後の人生で今からチャレンジしようと思っていることはありますか？
どのような活動を今後していきたいですか？

⇒ないんです、といつもお答えしています。やりたいことは日々やっている。この調子で死ぬまで日々やっていけば、いいかと考えています。

●高校生、大学生等、若い方にすすめたいことは何ですか？

⇒若い方へ。そうですね。。。多感な年ごろを生きていращやる。と思います。みなさん、がんばって生きて行こうじゃないか。という感じですかね。

●日本酒がお好きだそうですか好きなお酒を教えてください。

⇒銘柄ですか？うーん、そうですね。多分皆様が聞いたことのない小さい蔵が多いのです。
私は冷酒が苦手で、お燗をつけて美味しくなるお酒が好きなんです。



様々な干し野菜

蕎麦を茹でながらお燗



さて、ここからは、毛教授からの質問も。

●大変興味深い生活スタイルを拝見しました。
ご自分だけでなく、ご両親など、家族を含めた生活は
どうお考えでしょうか。



⇒確かによく言われるのは、自分は良くても家族がいると
電化製品を手放すことはできないと。

確かに、例えば家族分の山のような洗濯物を手で洗うとなると
現実的じゃないというのはよくわかります。

でも新刊「家事か地獄か」にも書いたんですが、家族のものを誰か一人が洗うのでなく自分のものは自分で洗濯
をするという考え方はどうでしょう。

子供でも、いかに立派な学歴を身につけても、自分のことがまったくできないという状況は危険だと思うんです。
食べるものも、自分のご飯と味噌汁を自分で作ることができれば、人生にどんなアクシデントが起きても根っこ
のところで動じることなく生きていける。

家族がみんなと一緒にいても、家事はそれぞれがやる、一人一家事という考え方はすごく大切だと思います。
それは「強さ」につながります。

人から理不尽なことをされても、無理難題を押し付けられても、きちんと no と言える強さを持てることって大
きいですよね。



●毛教授：

その考え方は本当に素晴らしいと思います。ここでひとつ、「魂の退社」という本が韓国・中国で大変話題になりました。たくさんの人に読まれているという現状があります。社会的背景が大きいと思います。日本とは社会の
システムが異なりますが、稲垣さんの書籍は、一生懸命働く女性の共感を得ました。例えば一人暮らしをする中
では社会の助け、バックヤードが必要です。歩いて3分のところに銭湯がある等もそうですね。その助けがない
社会システムの中では、このような「ない幸せ」を実践するというのももちろん、発想をすること自体、難し
い。前提が崩れてしまう。このあたりのことを少し紹介していただけませんか？

⇒そうですね。確かに国が違うとシステムが違うので、悩みも解決法も変わってくると思います。でも現代人の苦しみというのは案外世界共通のところもあって、例えば韓国では私の本を広く受け入れて頂いているんですが、それは、韓国は日本以上に競争社会、学歴社会で、競争からおちこぼれる、会社からはじかれるということに恐怖を感じている人がとても多いんです。一度ソウルでブックトークをさせていただいたんですが、皆さんとても熱心で、メモを取りながら聴いたり、すごい熱量を感じましたし、いろいろな相談も受けました。国が違って悩む姿は同じなんだと、韓国の方をとても身近に感じました。

●神戸で好きな場所はありますか？

⇒住吉に住んでいたこともあり、六甲の山が好きです。週に一度は登っていました。小さなダムがあってその先にきれいな池があって、カメがいたんですね。そのカメを見るのが楽しみでしたね。それとイノシシですかね。また別の湖で座って瞑想していたら、プヒブヒとイノシシがすぐ近くに。。。あっと思ったんですが、何もせず心静かにしていたら向こうに行ってしまいました。瞑想で撃退したわけです。イノシシも神戸の思い出ですね。

毛先生：

ファンタジックですね。私は神戸に30年います。稲垣さんより長くまた、たくさんのイノシシを見ていますが、なかなかそんな場面はないですね。(笑)



六甲ライナーがマリナーパークから住吉へ。目の前には六甲山系の緑が広がります。

たくさんの質問や、稲垣えみ子様へのメッセージをいただきました。ありがとうございました。当日のトークでは時間の都合上、すべてご紹介できず申し訳ございませんでした。